

2 / 28 [木]

地域づくり協議会加入団体意見交換会

住んでよかったと思える上毛町を
次世代に引き継ぐ

地域づくり協議会に加入するすべての活動団体を対象とした意見交換会が開催され、全28団体のなかから20団体が参加し、活発な意見がだされました。

地域づくり協議会は、平成23年に「住んでよかったと思える上毛町を次世代に引き継ぐ」ことを基本理念に26の地域づくり活動団体で設立されました。町といっしょになって「上毛町コミュニティ計画」を推進し、地域づくりを行う方々へのサポートを中心に、中間支援組織としての役割を担ってきました。

これまでの主な活動内容は、「いぶきの里」を地域交流拠点施設として、整備を行い、地域づくり活動団体への支援を行ってきました。今後は、協議会加入団体も増加することが予想され、益々地域づくり活動が盛り上がると思われまます。一方で加入団体数の増加は、各団体への助成金(5万円/団体)にかかる経費の増加も見込まれます。

今回の意見交換会では、こうした現状を踏まえ、設立時に立てた将来ビジョン・組織目標を再確認し、地域づくり協議会の今後のあり方・進め方を検討する時期にきていると考えられ、また地域づくり協議会を構成する団体の活動や協議会との関わりの現状、思い等を把握することも目的に開催されました。

まず、はじめに山下会長から、地域づくり協議会設立の趣意書と組織目標・将来ビジョンが読み上げられ、全団場で確認しました。その後、協議会を構成する各部会(情報発信部会・交流活動部会・文化継承部会・安心安全部会・景観保全部会)毎のグループに分かれ、意見交換が行われました。

意見交換では、各活動団体の活動内容や活動への思い、将来の団体のあるべき姿を情報共有すること。地域づくり協議会や拠点施設「いぶきの里」に求めること、補助金がなくなった場合に活動が継続できるかなど、様々な視点から議論がなされました。

各団体からは、「団体間の連携・情報交換ができていない。お互いの連携を密にし、情報交換することでそれぞれの団体の活動支援に繋がる」、「協議会の組織目標・将来ビジョンは掲げられてから3年となる。現在の協議会にあった形に変える必要がある」などの意見が出されました。

みなさんの貴重なご意見をもとに、今後の取り組み、進め方や将来ビジョン・組織目標についての再検討など役員会を通じて議論していきます。協議会の活動が「住んでよかったと思える上毛町を次世代に引き継ぐ」という基本理念に向けて再スタートを切りました。



2 / 18 [月]

地域コミュニティ活動事例報告会

福岡県内の
コミュニティ活動の現状を学ぶ

福岡県吉塚合同庁舎で、地域でコミュニティ活動をしている方を対象とした「地域コミュニティ活動事例報告会」が開催され、地域づくり協議会から役員3名が参加しました。この報告会は、県内の地域づくりの活動の取組事例を聞き、情報を交換しながら交流を深め、地元での地域活動に役立てて行くことを目的に、年に1回開催されています。

今回は、住民自治や協働のまちづくりを専門に県内各地で活動している(株)アーバンデザインコンサルタントの十時裕氏による「コミュニティ政策の状況と課題について」と題した、コミュニティ制度の歴史から県内におけるコミュニティ活動の動向や今後の展開などについての基調講演から始まり、福岡県内の3地区の事例報告がありました。その後、他地域の参加者とワークショップ形式で、情報交換を行いました。

75歳以上の高齢者の割合が高い北九州市徳力団地自治会からは、団地単位で、コミュニティを形成し、自治会が主となって「ふれあい便り」の発行といった、イベントを開催しており、これが高齢者の見守りにつながっていることなどの発表がありました。

小学校単位でコミュニティを形成している春日市泉地区自治会からは、学校、家庭、地域が連携して子どもを育成する活動(学習支援・安全支援・環境支援)をしていること。過疎化や荒廃農地の増加が進む八女市大淵地区からは、自治運営協議会を設立し、「コメ花プロジェクト」と題し、耕作放棄地の開墾整備、稲・花の植え付け、コメの販売などを2千年もの昔から先人たちが守り続けていたかけがえのない故郷を守ろうと運営委員44名が活動していることなど発表がありました。

それぞれの地域に、活動の限界や課題がありましたが、知恵と工夫で地域資源を守るためのコミュニティ活動が実践されていました。

上毛町にも、豊かな自然や歴史、伝統文化に育まれた地域の宝があり、多くの方々がこれらを受け継ぐために様々な分野で活躍しています。今回の研修は、地域の誇りを見つめ直し、個性を活かした町づくりを考えるための参考になりました。



住んで良かったと思える上毛町を住民の力で次世代に引き継ごう
上毛町地域づくり協議会だより

【基本理念】

住んで良かったと思える上毛町を
住民の力で次世代に引き継ごう

【将来ビジョン (10年後のあるべき姿)】

上毛町地域づくり協議会は、町と協働で「上毛町コミュニティ計画」を推進し、地域づくりを行う方々へのサポートを行う『中間支援組織』としての役割を担うと共に、常に先頭に立ってまちづくりを実行する組織となることを目指す。

- 地域づくり総務大臣表彰受賞
- まちづくり先進地として視察受け入れ組織へ

【組織目標 (ビジョンを実現するための5年後の目標)】

- 協議会が主体となり新たなコミュニティ計画プロジェクトを実施
 - ・友枝02※ 地域拠点をつくる～交流の拠点づくり～
「地域づくり協議会事務所を地域づくりの交流の場として多くの方が活用できるように運営し、住民自治のまちづくり拠点とする」
 - ・上毛全体02※ 人材バンク～地域の人材に活躍の場を～
「いろいろな技術を持った町民の方(川遊び、漬物づくり、竹の子掘り、そば打ちなど)を人材バンクに登録し、その情報を発信することで、多くの方の活躍の場を創出する」
- 各団体のコミュニティ計画プロジェクト継続の支援
- 新規団体の発掘及び会員数の増加
 - 団体数 29団体→44団体(1年間に3団体)
 - 会員数 延べ人数445人→667人(1.5倍)
- 収益事業の実施
 - ・イベント収益、商品販売等
 - ・視察受け入れ手数料等
- 寄付金の受け入れ体制の整備

※上毛町コミュニティ計画88のプロジェクトの整理番号です。

